



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成27年9月号
国民生活産業・消費者団体連合会

第4回人口減少・超高齢社会対策委員会

～ これまでの活動と今後の計画を確認 ～



【講演】

「人口動態からみた

高齢者を取り巻く環境変化」

公立学校法人福井県立大学

地域経済研究所 佐々井司教授

8月25日、東海大学校友会館にて、第4回人口減少・超高齢社会対策委員会を開催しました。

会の冒頭で福井県立大学地域経済研究所の佐々井司教授より「人口動態からみた高齢者を取り巻く環境変化」というテーマでご講演いただきました。日本の人口動態の推移から地域別の状況について、また高齢者の生活に密接に関わる医療・収入と支出・就業などについて詳しく解説をいただき、参加者も熱心に耳を傾け、多くの質問も出ました。

続いて事務局より、活動の報告と今後の計画について提案を説明し、議論を行いました。

5月よりスタートした「買エルマンキャンペーン」については、これまでに行った生活者への周知啓発結果を確認し、今後も継続的に男性の家事参加のきっかけ作りを推進することが確認されました。

またシニア層に暮らしの身近な意見を聞く「アクティブライフ意見交換会」については過去行われた2回のヒアリングの情報をもとに商品やサービスの改善につなげるべく、会員内で情報共有を進めることを確認し、年度内に「健康」と「ITリテラシー」をテーマに2回行うことといたしました。



第2回アクティブライフ意見交換会

～ シニア層とネットスーパーについて意見交換 ～

7月30日、シニア層に身近な生活について意見を聞くアクティブライフ意見交換会を都内にて行いました。今回は第1回で利用者がゼロだったネットスーパーをテーマとして行いました。



当日は男女20名のシニア層の方に集まっていたいただきました。まずは株式会社マルエツ商品本部商品企画統括部営業推進部課長吉田雅彦様より、ネットスーパーについてプレゼンテーションをしていただき、その後に参加者から意見をうかがいました。

参加者からはネットスーパーからインターネットの利用まで、数多くのご意見を頂戴しました。意見交換会でいただいたご意見や気づきは、生団連事務局でとりまとめて全会員に発信し、情報共有を深めて参ります。その上で、生活者の暮らしの改善につなげていきたいと考えます。

国際女性平和フォーラムにて 清水会長と山口副会長（堺市消費生活協議会会長）が対談



当連合会の副会長である堺市消費生活協議会の山口典子会長のお声掛けにより、7月28日（火）に開催された「第41回国際女性平和フォーラム」（主催：堺市女性団体協議会）において、清水会長と山口副会長の基調対談が行われました。堺市立女性センターに集まった約800名の聴衆の前で「終戦70年、今思うこと 願うこと～元特攻隊員の誓い～」というテーマで約90分間対談しました。会場には入りきれずにテレビモニターで視聴される方もおり、大盛況となりました。

対談は、山口副会長の進行で進められ、清水会長が戦前、戦中、戦後から現在までどうやって生きてきたか、またその時々々の日本社会の状況について語りました。そして「明治から今日までの147年間の日本の本当の姿を国民に教えるとともに、先の大戦を冷静に総括し、そして新しい国づくりをしていかななくてはいけない」と熱いメッセージを投げかけました。

山口副会長からは、「この国を変えるためには私たち一人ひとりが声を上げていくことが大切であり、今はその一人ひとりが判断を迫られている時期に来ている」と語り、二人への拍手が鳴りやみませんでした。



生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>